

こうとう民報

2012年11月号 97

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



【プロフィール】
前日弁連会長、反貧困ネットワーク代表

東京都知事選挙に出馬！

[人にやさしい都政をつくる会]

宇都宮けんじ(65)

石原都知事の突然の都知事投げ出しにより、11月29日告示、12月26日投票で都知事選がたたかれ、歪められた都政を正す絶好のチャンスです。

宇都宮さんは、誰もが人らしく、自分らしく生きられる東京をつくる、東京から脱原発をすすめる、子どもたちのために教育を再建する。憲法の生きる東京をめざす政策を掲げ、この4つの柱を支持する多くの方とともに、「人にやさしい東京をつくる」ことを呼びかけています。

区民負担増やめ、福祉予算の増額を

28日の斉藤信行議員の本

区議会第4回定例会が11月28日から始まり、今後の日本の針路に関わるたかいたの最中に行われる議会であるだけに、共産党区議団は「住民の暮らしと営業を守る」本来の役割を江東区政が果たし、大きく政治を変える方向に進めるよう力を尽くしてまいります。

住民の暮らしと営業を守る政治に

ワーカーや災害時に必要な土木部職員などを採用すること。保育・高齢者などの福祉や中小企業支援予算を大幅に増やすこと。

原発ゼロと福祉の充実を

30日は赤羽目民雄議員が次の3点について本会議質

怒りの江東区民集会



集会実行委員長の青柳さんは「民主党政権になって公約は何ひとつ守られていません。12月には選挙が行われることになりました。わたたちが大きな声をあげて、私たちが大きな声をあげて、いま困っている人々たちを救える政治をつくっていきましよう！」と挨拶。

11月13日、猿江公園にて区民要求実現大運動実行委員会主催の「11・13怒りの江東区民集会」が開かれ、20団体400人が参加しました。

第24回江東区高齢者集会

老いても安心して暮らせるまちづくりを！

11月3日、第24回江東区高齢者集会が総合区民センターで開催され、160名を超える方が参加しました。

と訴えました。アスベスト訴訟原告団からは、訴訟でのこれまでの闘いと決意が述べられました。「守る会」の佐藤巖会長からは、生活保護改善を許さない闘いと訴え、きかんし労組からは「悪いところはどんどん悪くなつていく」と年末一時金をめぐっての団交の結果を報告。今後の消費税増税により、まったく先行きが見えない状況と訴えました。



各分科会で報告をされたみなさん

問します。被害が続いている中で、原発再稼働を許さず、区としても太陽光発電など再生可能エネルギーへの転換に本腰を入れること。

集会では「消費税増税ストップTPP参加反対・オスプレイノー、社会保障拡充・雇用と営業守れ・震災復興・脱原発」の決議が満場一致で採択され、参加者は猿江公園から亀戸文京公園までデモを行いました。

刻な豊洲・東京ガス跡地への築地市場移転やオリンピック招致活動の中止を求めること。

最後のセイフティネットである生活保護制度の改善を許さず、雇用環境や社会保障制度の改善などを求めること。

「健康づくりと介護予防」の四つの分科会が開催され、各分科会の報告者からの話し合いが行われました。

解説

北の国からは雪の便りが届きます。永びく不況下、巷では早くもクリスマス商戦が始まりました。突然の師走総選挙で、理念・政策もなく右往左往する議員たちの醜態は目に余ります。石原氏が2年半も任期を残し都政を投げだしました。「中央集権打破」が国政進出への口実です。かつてウルトラ右翼「青嵐会」の一員で、国会では主張が実現できないと都知事に転身「東京から日本を変える」と豪語したのです。氏の政治理念の基本は日本国憲法の破棄です。それが都政に具体化されてきました。障害者や女性への差別的暴言、「日の丸・君が代」強制、都立病院廃止、高齢者福祉の切り捨て等々。他方で、大企業のための外環道、港湾整備、オリンピック招致積立金、破綻した新銀行支援など枚挙にいとまありません。石原私党を彷彿とさせる「太陽の党」は日本維新の会と合流し、戦前社会の復活を狙います。14年間、石原知事にろう断された東京の若者の失業率は7.5%。2人に1人の非正規の年収は150万円未満が80%なのです。11月9日、「人にやさしい東京をつくる会」の呼びかけ人宇都宮健児氏が都知事選に出馬表明をしました。反貧困ネットワークの代表でもある氏が、都民の期待を担って都政を変えるこのチャンスを生かすことを願って止みません。